ＵＰＭ－１０工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

平場：ＵＰＭ－１０工法（密着工法　平均厚３.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ | ０.１５㎏～ |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ | １.３㎏ |
| ３ | プラマックス５００ | ２.０㎏ |
| ４ | エクセルトップ | ０.２㎏ |

立上り：ＵＰＭ－１０Ｌ工法（密着工法　平均厚２.５㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ | ０.１５㎏～ |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 立上り用 | ０.７㎏ |
| ３ | プラマックス５００ | ２.０㎏ |
| ４ | エクセルトップ | ０.２㎏ |

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１ Ｈ | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 立上り用 | １８㎏／缶  ８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材立上り用 |
| プラマックス５００ | ３９０㎏／セット | Ａ剤：Ｂ剤＋トナー＝１：１  （容積比） | ２成分形超速硬化ウレタン防水材＋ＭＱＣトナー |
| Ａ剤　２００㎏／ドラム  Ｂ剤　１７５㎏／ドラム |
| ＭＱＣトナー | １５㎏／缶 |
| プラマックス５００  （小分け） | ３５．４㎏／セット | Ａ剤：Ｂ剤＋トナー＝１：１  （容積比） | ２成分形超速硬化ウレタン防水材＋ＭＱＣトナー |
| Ａ剤　１８㎏／缶  Ｂ剤　１６㎏／缶 |
| ＭＱＣトナー（小分け） | １．４㎏／缶 |
| エクセルトップ | １４㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝３：４ | ２成分形ハルスタイプアクリルウレタン樹脂トップコート（溶剤系） |
| 主　剤　　６㎏／缶  硬化剤　　８㎏／缶 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：ＵＰＭ－１０工法 | 立上り面：ＵＰＭ－１０Ｌ工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  | |
| 吹付け養生 | |
|  |  |
| プライマーＰＷ－Ｆ塗布 | |
|  |  |
|  | エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ  立上り用塗布 |
|  |  |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ塗布 |  |
|  |  |
| プラマックス５００ | |
|  |  |
| エクセルトップ塗布 | |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
| 下地処理確認・吹付け養生後、良く清掃し、主剤・硬化剤からなるプライマーＰＷ－Ｆを規定の配合で混合攪拌し、ローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ塗布 |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈをコテ等の工具を用いて１．３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | プラマックス５００吹付け |
| プラマックス５００Ｂ剤へＭＱＣトナーを規定の量を混合撹拌し、Ａ剤・Ｂ剤を規定の液温になるまで加温する。  試し吹き確認後、Ａ剤・Ｂ剤からなるプラマックス５００を専用吹付け機を用いて、２.０㎏を均一に吹付けを行う。 |
| ４ | エクセルトップ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるエクセルトップを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ５ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

**立上り**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
| 下地処理確認・吹付け養生後、良く清掃し、主剤・硬化剤からなるプライマーＰＷ－Ｆを規定の配合で混合攪拌し、ローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 立上り用塗布 |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 立上り用をコテ・ゴムベラ等の工具を用いて０.７㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | プラマックス５００吹付け |
| プラマックス５００Ｂ剤へＭＱＣトナーを規定の量を混合撹拌し、Ａ剤・Ｂ剤を規定の液温になるまで加温する。  試し吹き確認後、Ａ剤・Ｂ剤からなるプラマックス５００を専用吹付け機を用いて、２.０㎏を均一に吹付けを行う。 |
| ４ | エクセルトップ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるエクセルトップを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ５ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |